

# 地 域 計 画 書



有間野住民協議会

# 目次

I. 有間野地区の概要	3
II. 地域の将来像	4
III. 地域の目指す姿	4
IV. 地域づくりの具体的計画	5, 6
V. その他資料	
① アンケート集計表	
② 思いを聞く会で出された意見	

#### ◆地域計画の進め方

10年間で地域の人口が20%減少した。  
少子高齢化が顕著であり、過疎化が急速に進んだ。  
人口の減少による危機感はみんな持っているが対策は難しい。  
幸いにも  
有間野地域には、昔から「一校一区」のまとまりがあり、  
ずっと守り続けてきた人と人とのつながりがあり、伝統や  
自然を後世に伝えていくことを、地域計画策定の  
進め方の基本とした。

#### ◆策定委員（順不同）26名

石上武則	稲寄清	大川邦春	喜多さよ
加藤麻海	加藤秀徳	加藤利恵	小林健三
中西ひろ子	長井正彰	長井正憲	西内直子
野呂賢一	野呂正巳	野呂芳夫	野呂吉郎
藤岡智子	廣田恭次	堀内章子	堀内敦
丸山和輝	丸山敏行	森本千鶴子	森本豊一
森本将史	柳瀬稔		

#### ◆地域計画策定の経過

合併10年を迎える26年度中に今後の地域計画を策定する方針に沿って

- ・平成26年6月 アンケートの項目を決める
- ・平成26年7月～8月 全住民を対象にアンケート実施
- ・平成26年9月～10月 アンケートの結果をまとめる
- ・平成26年11月 委員会にてアンケート集計結果報告
- ・ " 住民に回覧にて周知 希望者には個別配布
- ・平成26年12月 役員会でまとめ方検討
- ・平成27年1月 住民の意見、思いを聞く会開催
- ・平成27年2月 原案作成
- ・ " 委員会での説明 検討 了承を得る

# I. 有間野地区の概要

## ◇地域の特性

松阪市の西部に位置し、松阪市の中心地から25キロ余りの中山間地域であり、国道166号線の櫛田川沿いに位置し、南北に長い。

5つの集落に民家が点在している。

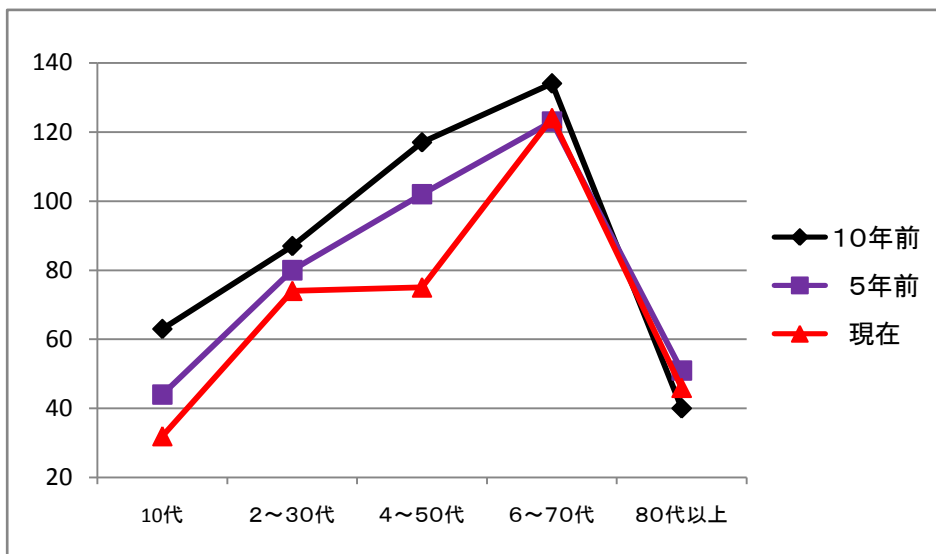
どの集落も山林と櫛田川にはさまれており、水田、茶畑、畑があり山林は杉、ヒノキの人口林が多く、雑木山もある。



## ◇基礎データ

年代別人口の推移

	10代	2~30代	4~50代	6~70代	80代以上	計
10年前	63	87	117	134	40	441
5年前	44	80	102	123	51	400
現在	32	74	75	124	46	351



## ◇地域の主な課題

- 人口が減り続けており、歯止めがかからず、少子高齢化の地域である。
- 唯一の小学校が休校扱いになり、地域住民の交流の機会が減った。
- 商店が全くなり、これもまた交流の機会が減った。
- 製材工場、杭屋が激減し、地元で働ける所がほとんどなくなった。
- 山、田畑、茶畑の手入れが人口の減少により営農する人が減った。
- 空き家も増え、管理できず、防犯上危険である。
- 荒地が多くなり、大災害がいつ起こっても不思議ではない。
- カラス、猪、鹿、猿等の獣害で地域住民の物をつくる意欲が低下している。
- 昔からの伝統、行事、風習が人口減少によりできなくなっている。

## Ⅱ. 地域の将来像

# しあわせを どんどんシェア（共有）できる地域

### 【将来像の考え方】

有間野地区は、四季それぞれの景色があり、四季に応じた昔からの行事がある。地域住民の大切にしている「助け合い」「おすそ分け」「お持ちより」「分かち合い」のところで、しあわせをどんどんシェア（共有）する地域、安全安心してらせる地域づくりに取り組みます。



## Ⅲ. 地域の目指す姿

### （１）安全安心で地域防災活動のできる地域

地域みんなで協力して、一人暮らしの世帯の見守り  
犯罪や交通事故から住民を守り、予防する活動

大地震、風水害の被害を最小限にするため、地域住民が力を合わせ  
安全安心な地域づくりをします。

### （２）みんなが健康で明るく楽しく暮らせる地域

健康づくりを推進し、笑い声の絶えない地域づくりをします。  
元気な高齢者の多い地域をめざします。

### （３）世代を超えた交流・連携ができる地域

世代を超えた交流を作りだし、コミュニケーションの活発な  
地域づくりをします。

### （４）発展と情報が発信・伝達できる地域

住んでもらわなくても、寄ってもらえる、寄りたくなるイベントや  
地域での出来事を発信する地域づくりをします。

### （５）自然環境を守り美しい地域

元来、おいしい水、豊富な水がある地域なので水を守り、豊かな自然や  
景観の保全、ごみのない美しい地域づくりをします。

## IV. 地域づくりの具体計画

### (1) 安全安心で地域防災活動のできる地域

事業名	事業内容	予定時期			備考
		短期	中期	長期	
組織のあり方検討	情報発信源の組織である自治会を含む全体の組織を見直し役割、運用を検討する		○		
地域連携 防災訓練	M9クラスの地震を想定した防災訓練	○			
地域見守りの しくみ検討	一人暮らしの世帯を見守るしくみや各集落の防犯対策や先を見据えた安全安心な環境を整えるための防犯灯の見直しや、監視カメラなどの検討		○		

### (2) みんなが健康で明るく楽しく暮らせる地域

事業名	事業内容	予定時期			備考
		短期	中期	長期	
健康づくり活動の 拡大	体を動かし、運動する機会を増やしどの年代でも健康な心身をつくるため歩くことからはじめ、有間野の自然や歴史探訪などで世代を超えて後世に伝えていく		○		
卓球同好会の 活動拡大	メンバーも増えてきたので、さらに募り大会を開催する規模まで広げる	○			

### (3) 世代を超えた交流・連携ができる地域

事業名	事業内容	予定時期			備考
		短期	中期	長期	
盆踊り	長年続けてきた伝統を継続していく	○			
有間野のつどい	全住民に声をかけ、食べる、しゃべる笑う、感動する、勉強する会を催す	○			
元旦駅伝	長年続けてきた伝統を継続していく	○			
はなまつり復活の 検討	昔やっていたことの復活を目指し実施できる環境を整備し、早い時期に実現するよう活動する		○		
白楽会活動の サポート	白楽会のメンバーが減り、新たに入る人が少ない現状打破のしかけを考え、サポートする		○		

### (4) 発展と情報が発信・伝達できる地域

事業名	事業内容	予定時期			備考
		短期	中期	長期	
花広場	地域の玄関 継続していく	○			
門松づくり	地域の玄関 継続していく	○			
ふれあいサロン	高齢者の楽しみ 継続していく	○			
料理教室	作る喜び 食べる楽しみ 継続していく	○			
寄せ植え講座	年末の楽しみ 継続していく	○			
楽しみの広場の検討	茶畑や畑が空き地になり、その一角を借り、将来の楽しみとなる たねをまく(たねは植物とは限らない) また、ずっと続いている地域住民個人の取組を応援できないかの検討			○	
空き家のデータベース化の検討	各集落の空き家の情報を一元管理出来るような仕組みをつくり、借りていただける空き家の情報発信		○		
高齢者の交通手段確保策の検討	買物、病院通い、など出かける時の交通手段を地域としてサポートする方策の検討		○		

#### (5) 自然環境を守り美しい地域

事業名	事業内容	予定時期			備考
		短期	中期	長期	
一斉美化活動	お盆前に地域一斉に行っている清掃活動	○			
有間野公園美化活動	夏場の公園一斉美化活動	○			
水を考える	昔からおいしい、豊富といわれている有間野の水を守る、有効活用出来ないか検討			○	

